



Look Beyond Yourself 自分を超えた眼を

1991-92年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー ●第2560地区ガバナー 橋本 力
- 会 長——渡辺宏策 ●副会長——内山辰策 ●幹 事——石橋育於 ●副幹事——外山雅也
- SAA——五十嵐力 ●副SAA——渋谷正一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477
FAX 32-7095

出席者会員数 会員 74名中 49名

先々週出席率 90.00% (前年同期 85.33%)

先週のメイクアップ

- 11/1 新潟東へ 渋谷健一君
- 11/5 東京日本橋へ 堀川政雄君
- 11/5 三条北へ 金沢興宗君、中村和彦君、外山一郎君、大谷幸平君、小林敬典君

会長挨拶 渡辺(宏)会長

5年前の藤田ガバナー年度に北クラブさんが誕生以来合同例会の話が度々出て居ましたが実現しませんでした。4月の会長エレクト研修セミナーで三クラブの会長間で実現の方向で話がまとまり、その後数回の会合で具体化し、各クラブの了解を得て本日の合同例会開催の運びとなりました。

ホストを各クラブの持ち回りと言うことで、本年度は三条クラブのホストで行う事になりました。僭越ながら三クラブの会長を代表してご挨拶申し上げておる次第でございます。

本日はゲストとして出席頂いた三クラブの事務局のレディー3名を含めて128名の登録で有ります。多数のご出席ありがとうございます。現在三クラブの合計会員数は200名に
なんなんとしております。

人口1万人当たりのロータリアンの数はニュージーランドが32名で一番多く、次いでオーストラリア23名で、アメリカは16名、日本は10名弱だそうです。三条は22名強でロータリー盛況ご同慶の至りです。ロータリークラブはそれぞれのクラブが自分のカラーを打ち出し、クラブ運営を行い奉仕を行うのが本則ですが、事に因ってはこの多数を合同する事で、より大きく、より効果的な奉仕が出来ると思います。

5年前藤田ガバナーの誕生で地区大会と言う大きなイベントが有り、南クラブさんより絶大なるご協力を頂き大変助かりました。近い将来に三条クラブが借りを返す事も有ろうかと思ひます。日ごろの三クラブの交流が有意義と考えます。

本日はロータリーの大事な活動の一つである親睦を大いに高めようと思ひます。ご協力御願ひします。

幹事報告 石橋幹事

◎地区年次大会事務所より 地区大会参加お礼状がとどいております。

卓話

藤田説量会員

今年のテーマは「自分を越えた眼を」と言うことです。この意味は、まず「自分が自分を理解している」という事、もうひとつは、「他人の眼に映った自分を理解する」ということです。

私達は自分の姿というものを鏡で観て、こういうものだと思ひています。しかし本当に観ているかというのと、誠にいい加減なものを見ています。自分の歩いている足音というものは聞いたことがないものですが、他人にはその足音というものが非常に良く判る、歩いているその足音によって他人を理解することもできるし、その人の性格さえも、判ることがある。しかし、自分で自分の足音というものは、なかなか判らない。自分の足音も判らない人は、人の足音も判らない。そういう自分というものの限界を、よく見極めていないと自分を飛越せないのではないかと思ひます。

一番のポイントは、自分だけの世界だけでなく、皆と、共にある世界を観る眼を養えという意味のように思われます。

これは、会長のお話にありましたように、三条の街で同じロータリークラブがあるならば、社会奉仕をするにしても、一緒にやって、より大きな効果があげられたらよいのではないのでしょうか。必要ならば、3クラブ合同で委員会を開くことも必要でしょう。手を取りあって、より大きな奉仕ができるなら大変結構な事ではないかと思ひます。また、「自

分を超えた眼を」は発想の転換を呼びかけていることと思ひます。

「ひょうたんなまず」という禅宗の問答がありまして、なまずを捕らえる一番いい方法を考えろとの師匠の問いにパスした答えが、のらくらする物は、ひょうたんの様な丸い物に油を塗っておさえるのが一番良いということです。油を落とすのに油で作られた石けんで落とすというのが、その発想だと私は思ひます。ですから、私達は、日常生活の色々な所で「私」というものと「他人」というものと相対しながら生活しておりますが、最も大切なのは、自分の姿が、よく判るということからスタートしていけば、間違いがない。その自分というのは人の眼に映った「私」というものを意識して、そういう2つの見方から自分というものが限定されてくる。そして自分を越えた大きな活躍ができるのではないかという教えであろうかと、私の独断と偏見の解釈をお話ししました。

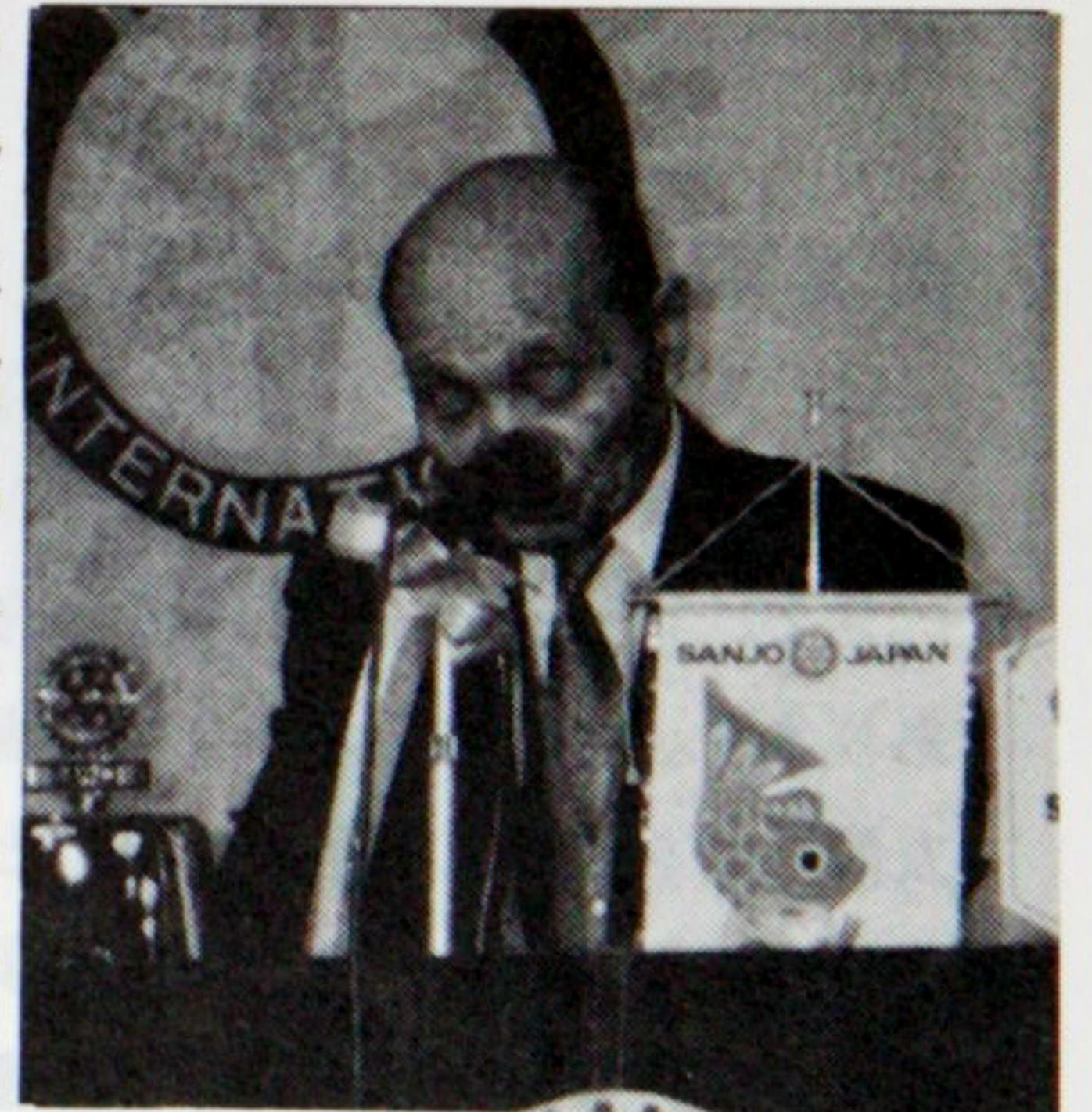
卓話

鈴木宗資会員

ロータリーができた当時を金子左武郎さんから聞いた話によりますと、三条ロータリー発足は昭和32年です。31年頃から新潟クラブと長岡クラブから盛んに三条のほうに呼び掛けがあったという話だそうです。何度言っても三条は腰を上げないということで、32年の正月に矢のような催促がありました。そこで私が金子さんに呼ばれまして、ロータリーを作れということになり、人選は金子さんのところで、やって頂きました。25名にしたと思ひます。

新潟のクラブの方にどのくらい集まるのかをお聞きしましたら80~90%集まるということでした。しかし、私には、そんなに集まるとは考えられず、どんな事をしてあなたがたは集めているのかと聞きました。そしたら奥さんに頼めばわけがないとのことでした。そこで、一番先に三条のチャーターメンバーの奥さんを発足式の前にも集めましてその20数名の奥さん方に頼みました。「毎週水曜日は、今日はロータリー、今日はロータリーと言ってお昼食をださないようにして下さい。そうするとロータリーに行きますから。」という事で、これが成功しまして、家に居ても、食事が無いからロータリーに行こうというようになりました。こうして、4月に発足式を行ったわけです。

当時を考えますと日本のロータリークラブは、二つ三つしかありませんでした。東京から新潟を含め北海道の端までが第29区でございました。静岡から九州までが第30区で、ガバナーは二人しかありませんでした。当時、私どものガバナーは、伊藤文吉さんという方でアメリカのハーバード大学出身の英語のできる大変な方でございました。



内田製作所の社長の内田鐵衛さんという方はチャーターメンバーでございますが、「私は昼寝をしないと、よい案が浮かばない。だから、2カ月したら辞めさせて下さい。」と仰いだし、ガンとして聞き入れませんでした。

内田さんが、いい考えを出してこれから事業を発展させるには昼寝が必要だったんです。昼寝を三条ロータリーが容認しなければ今日の、内田製作所はなかったわけでございます。

もう一人、結城太一郎さんという方ですが三条機械の会長さんでした。この方はロータリーに入って西独に行き、日本にないタバコを作る機械を購入したのです。当時、三条機械の運命をかけた機械を売ってもらえ、今日、タバコ機械で日本一になったのはロータリーメンバーのおかげであったと大変喜んでおられました。

無理して作ったロータリーでございますが大変良い事をしたと、後になって思っております。数十年前、ロータリークラブは皆様方に対して非常によい、接待が出来たことを自負しています。

開宴の挨拶

南ロータリークラブ 田中久作様

私、南ロータリーの田中でございます。只今は、藤田パストガバナーのお話、そして鈴木さんの卓話、硬いお話と軟らかいお話で大変有意義な例会でありました。

さて、ロータリーは、親睦から始まるといわれておりますが、その親睦は出会いからあります。今宵はその出会いの場であります。時間の許す限り大いに親睦を深め、そして友情の輪を広げていきたいものと存じます。

本日のお世話を頂きました三条ロータリーの皆さん、そして、北、南ロータリーの親睦委員会みなさんに、心から謝意を表しまして、開宴のご挨拶といたします。

合同例会スナップ 於 VIP



閉宴の挨拶

南ロータリークラブ 田中久作様

宴たけなわのところ、真に恐縮ですが閉宴のご挨拶を申し上げます。このたびは、三ロータリークラブの親睦を深めることができましたでしょうか？（拍手）はい、ありがとうございました。

来年は、私共南ロータリーがホスト役をやらせて頂きます。ひとりでも多いご参加を祈念いたしまして、閉宴のご挨拶といたします。ありがとうございました。

会員家族紹介

五十嵐寿一会員

私の母、73歳。

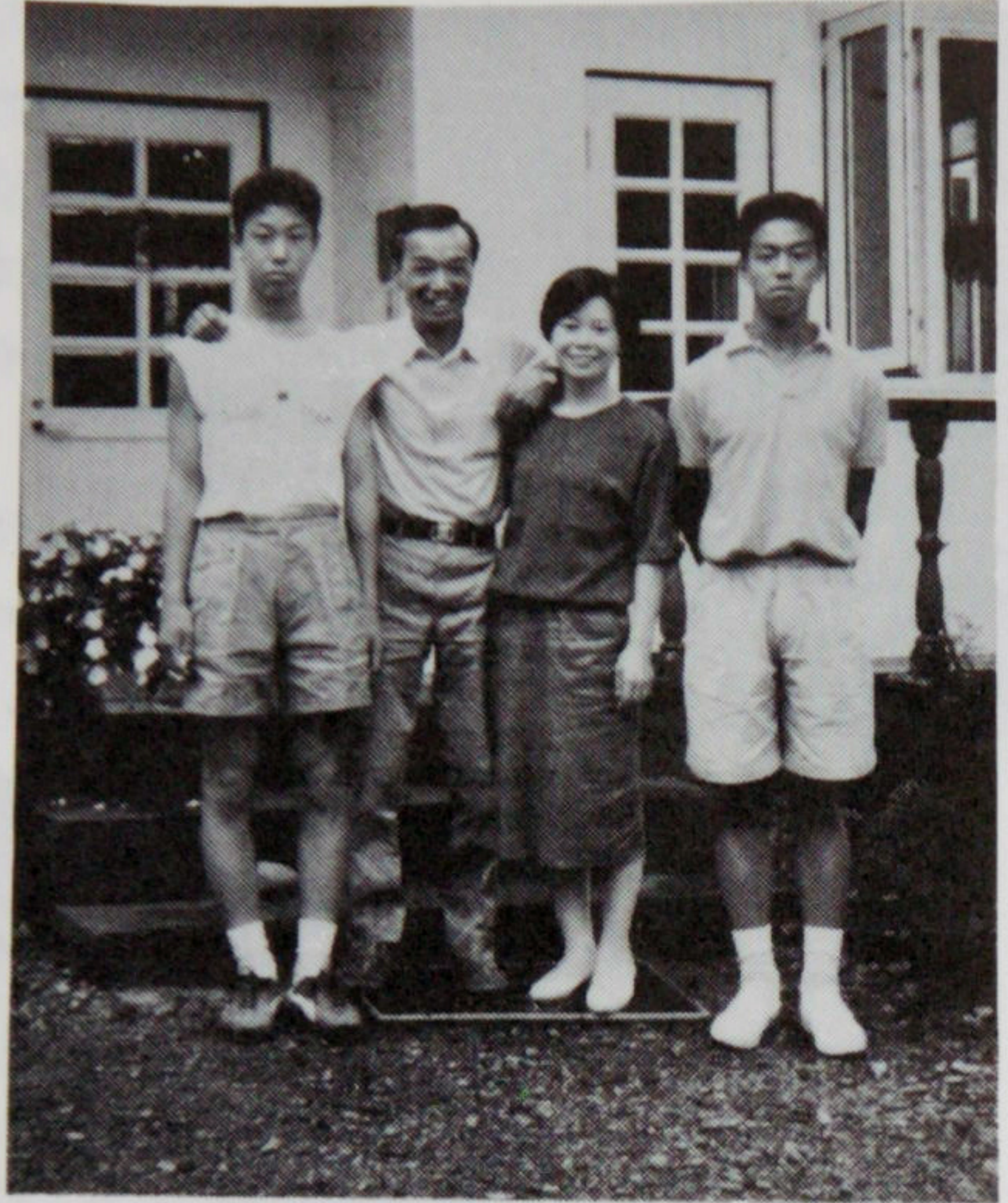
妻は昭和20年8月に、福井県美浜町（五木ひろしと同郷）に生まれ、東京にて、ふとしためぐり合わせで、昭和45年10月に結婚。

46年7月に長男聡誕生、現在玉川大学工学部1年。

49年1月次男大輔誕生、現在高校3年。

二人とも、サッカー大好き少年でした。

今のところ、私を含めて、家族全員健康で幸せです。



私の座右銘

五十嵐昭一会員

人は迷うものである。

それは努力をしている
証拠であるからだ。

私の座右銘

高森昭光会員

常に心に
太陽を持って

11月13日例会 卓話 熊倉昌平会員

11月20日例会 卓話 関本哲秀会員

11月27日例会 卓話 三条市消防本部次長 古川隆明殿
